

ざっくり
黙示録

外

大患難時代の 前にと 起きるごと

番外編

【今日のアウトライン】

0. ざっくり千年王国論

終末のおさらい

I. 世界大戦

II. イスラエルの建国

III. エルサレムの支配

IV. 北の諸国連合の侵攻

V. 世界統治機構の出現

VI. まとめと適用

世の終わりに生きる私たち

聖書の希望は終末的希望



0. ざっくり千年王国論



【主な三つの千年王国説】

① 千年王国前再臨説 (使徒たち。初代教会)

メシアが来て、千年王国が誕生する → ユダヤ的希望。
メシアニック・ジューの排除と共に衰退。 → 回復と共に復興。

神に委ねる
しかない!!

② 無千年王国説 (カトリック、東方正教会)

異邦人教会で主流に。千年王国を比喩的に解釈。
千年王国は教会のこと。

「教会」が
すべて!!

③ 千年王国後再臨説 (プロテスタント)

クリスチャンが作り上げる理想世界が、千年王国。
福音的立場にも、自由主義神学の立場。

クリスチャンが
頑張らなくちゃ!!

【千年王国説の変遷】

①千年王国前再臨説 (ユダヤ的希望。)



異邦人教会が主流。ユダヤ人信者の排除。ローマ国教化。
ギリシャ哲学の影響。比喩的聖書解釈の台頭。

②無千年王国説 (カトリック・東方正教会は、ずっとこの立場)



科学の台頭 → 字義通りの聖書解釈 → 千年王国説の回復
ヒューマニズム、進化論、産業革命 → 楽観的歴史観。

③千年王国後再臨説 (一時期、プロテスタントの主流に!!)



世界大戦の勃発 → 楽観的歴史観の崩壊

④再び、無千年王国説が主流に!! (多数派)

一方で、文字通りの聖書解釈から、千年王国前再臨説が回復。
千年王国後再臨説も形を変えて、様々な教派で増幅中。

【千年王国前再臨説の三つの立場】

①大患難前携拳説

突然、携拳が起こり、そのしばらく後、大患難が始まる。

→携拳は、いつか分からない!!

②大患難中携拳説

7年間の大患難の中間期に携拳が起こる。

③大患難後携拳説

7年間の大患難の後に携拳が起こる。

大患難が始まったら、携拳の時期が分かっちゃう!!

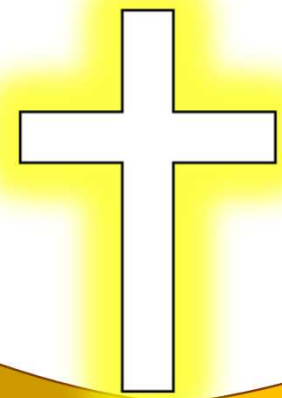
0. 終末のおさらい



【聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある】

天地創造
人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活



これから起きること

今の時代(教会時代)

～ゴールは、世界の回復。理想世界の実現～

【なぜイエスは、すぐに来ないのか？】

- イエスは、まだ王になられていない。
地上は、悪魔に不法占拠された状態。
- 再臨のイエスは、「裁き主」として来られる。
悪と罪人は、厳しく裁かれる。
- 今の恵みの時代は、一人でも多くの人が、
福音を信じて救われるための“猶予期間”

イエスが来られる前か、あなたが死ぬ前に、福音を信じなさい、と!!



★ イスラエルの歩み ★

【千年王国】

黙示録

メシア再臨

【大患難時代】

異邦人の時

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【中間時代】

帰還・再建 前538

バビロン捕囚 前587

新しい契約

北イスラエル滅亡 前722

南北分裂 前950

【王国時代】

ダビデ契約

【カナン定着・士師時代】

土地の契約

【荒野の四〇年】

モーセ契約

【エジプト奴隷の四〇〇年】

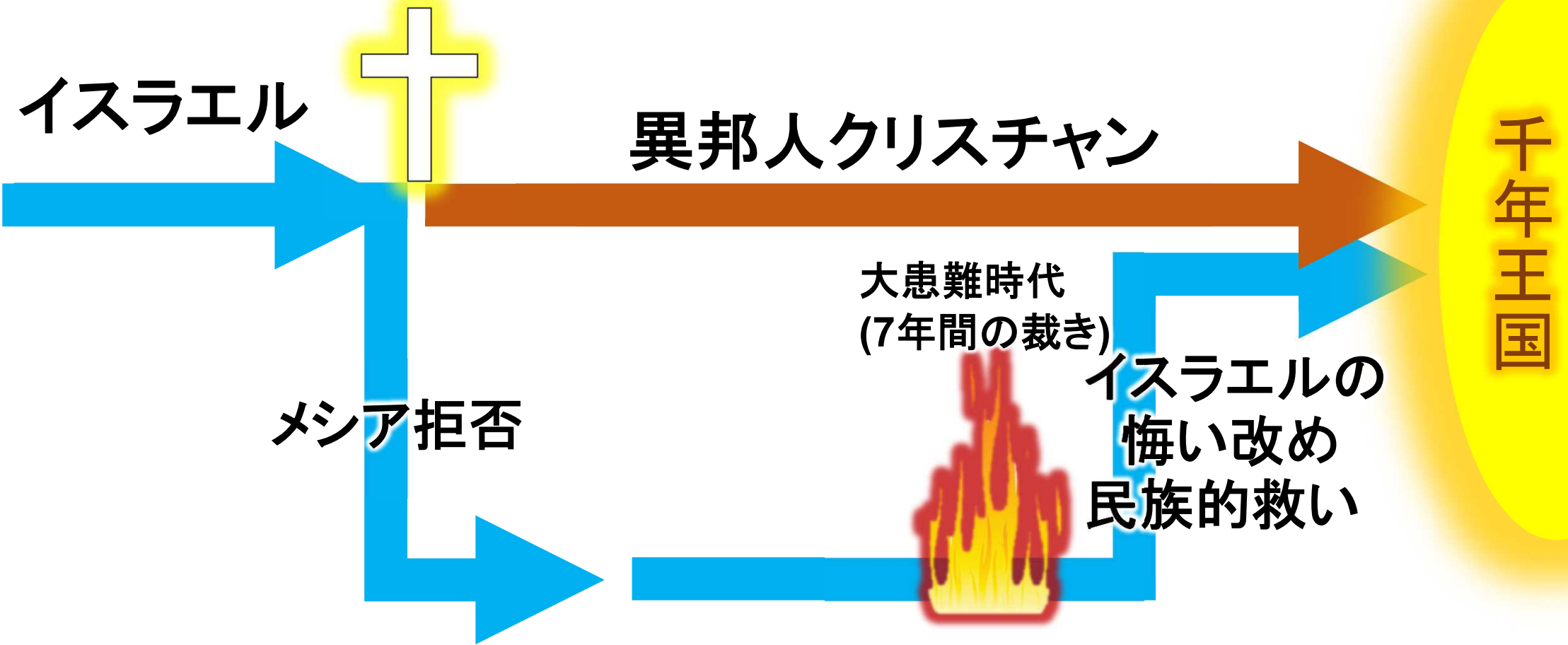
出エジプト 前1290

【族長時代】

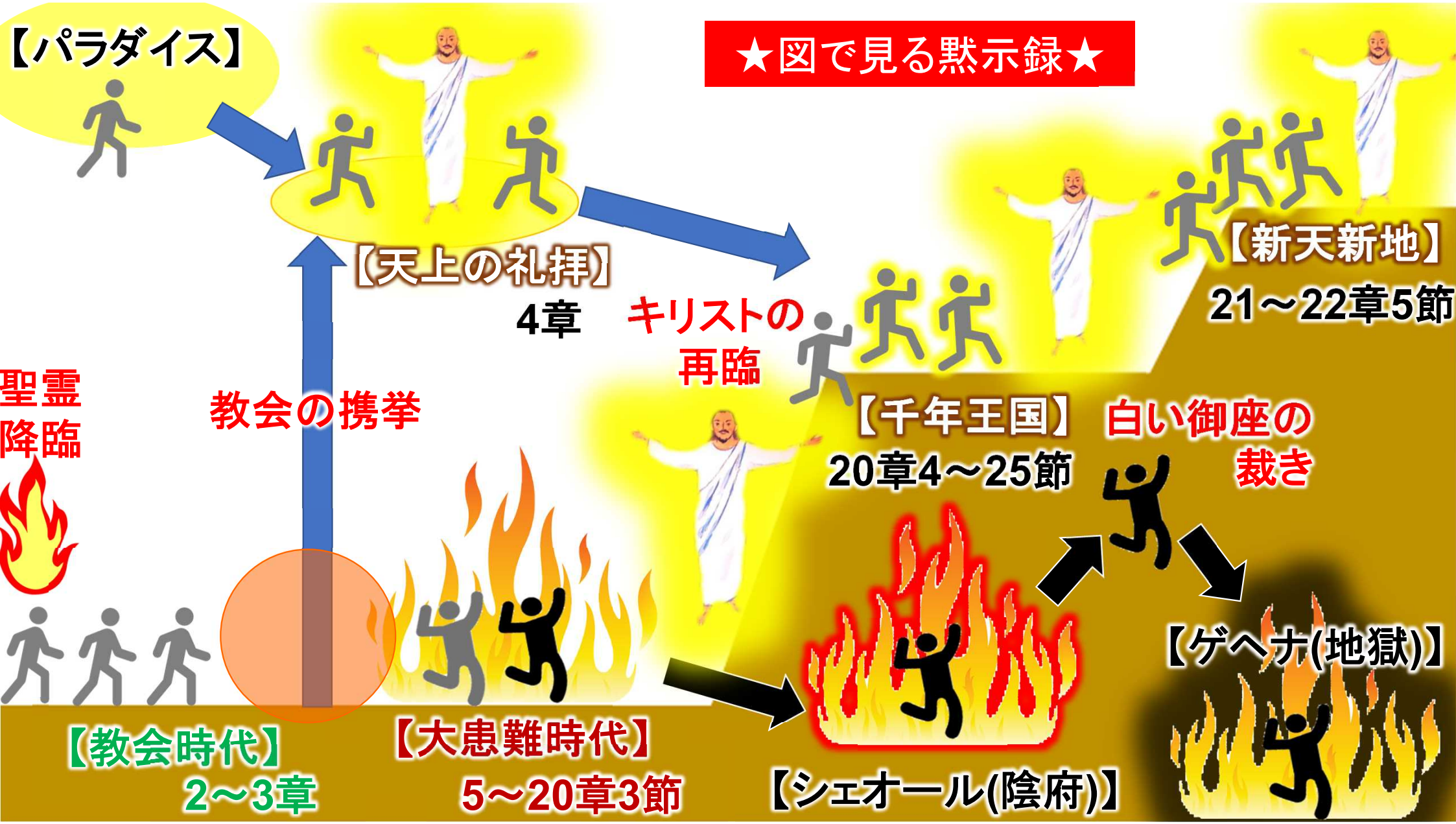
アブラハム契約

【イスラエルに対する神の救いの計画】 ロマ11:25~26

「イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時が来るまでであり、こうして、イスラエルはみな救われるのです。」



★図で見る黙示録★



【神の計画・これから起きること】

携挙は、いつ起こるか分からない

① 世界大戦
(ホロコースト)
1914~

地震の激増

② イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)
1948

③ エルサレム支配
(旧市街占領)
1967

(イスラエルの
表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

④ 北方からの侵略

⑤ 世界統治機構

⑥ 反キリストと
平和条約

大患難時代
(7年間の裁き)

キリストの再臨
イスラエルの回心

千年王国





I. 世界大戦

【世の終わりについてのイエスの答え】

「マタイ24:7～8 民族は民族に、国は国に*敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。しかし、これらはすべて産みの苦しみ*の始まりなのです」

* 世界規模の戦争を指す。

* 主要な英語訳聖書では、「しかし」とは訳してない。

➡“これらすべては、産みの苦しみ*のはじめ”

* 産みの苦しみ ...世の終わりのイスラエルの苦難
「イザヤ26:16～17【主】よ。苦難の時に彼らはあなたを求め、あなたが懲らしめられたとき、彼らはうめきの声をあげました。子を産む時が近づいた妊婦が産みの苦しみ*で、もだえ叫ぶように、」



世の終わりは
イスラエルの
産みの苦しみ

【すでに起こった世界大戦】 マタイ24:7～8

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。」

■ 第一次世界大戦(1914～1918)

■ 第二次世界大戦(1939～1945)

■ スペインインフルエンザ(1918～1919)
パンデミック。全世界で数千万が死亡。

■ 大飢饉(1920年・中国、1921年・ロシア)

■ 大地震の激増

19世紀・2119回 ➡ 20世紀・90万回

(関東大震災 1923年・死者10万5千人)



【神の計画・これから起きること】

携拳は、いつ起こるか分からない



地震の激増
①世界大戦
(ホロコースト)
1914~

大患難時代
(7年間の裁き)

イスラエルの回心
キリストの再臨



千年王国

Ⅱ. イスラエルの建国

1948年 近代イスラエル建国

独立宣言に署名する指導者ベン-グリオン



【裁きのための帰還】 エゼキエル20:33～36

20:34 わたしは、力強い手と伸ばした腕、ほとぼしる憤り*をもって、あなたがたを諸国の民の中から導き出し、その散らされている国々からあなたがたを集める。

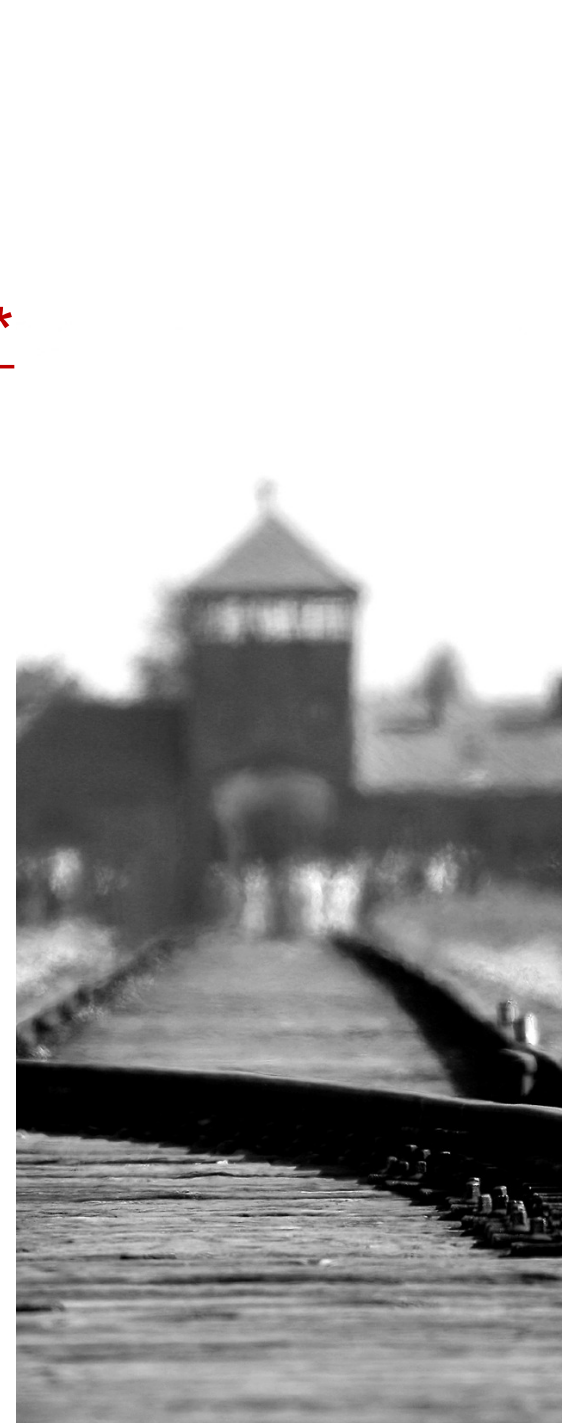
20:35 わたしはあなたがたを国々の民の荒野に連れて行き、そこで顔と顔を合わせて、あなたがたをさばく。

20:36 わたしは、あなたがたの先祖をエジプトの地の荒野でさばいたように、あなたがたをさばく。

■ 世界大戦で、全ユダヤ人の1/3が虐殺された。

ホロコーストとは、“焼かれた犠牲”の意味。

■ 世の終わりの大患難時代*が、最も過酷な苦難となる。



【不信仰なままの第一の帰還】 ゼパニヤ2:1~2

「ともに集まれ、集まれ。恥知らずの国民よ。* 御定めが行われて、その日が**粃殻のように過ぎ去らないうちに。**

【主】の燃える怒り*が、まだあなたがたを襲わないうちに。

【主】の怒りの日*が、まだあなたがたを襲わないうちに。」

* 不信仰なままのイスラエルの帰還を示す。

➡近代イスラエル建国の立役者の多くは社会主義者。

現在のイスラエルでも無神論者が最も多い。

* 主の怒りの日 ...大患難時代のこと

主の怒りの日は、第一に、イスラエルへの裁きの時。



【信仰を持つての最終的帰還】 イザヤ11:10～

その日になると、エッサイの根*はもろもろの民の旗として立ち、国々は彼を求め、彼のとどまるところは栄光に輝く。その日、主は再び御手を伸ばし*、ご自分の民の残りの者を買取られる。彼らは、アッシリア、エジプト、パテロス、クシュ、エラム、シンアル、ハマテ、海の島々に残っている者たちである。主は国々のために旗を揚げ、イスラエルの散らされた者を取り集め、ユダの追い散らされた者を地の四隅から集められる。

* エッサイの根 ...メシア。再臨される主イエス。

* 再臨された主イエスが、すべてのイスラエルの民を世界中から、再建されたエルサレムに集められる。



【神の計画・これから起きること】

携拳は、いつ起こるか分からない

①世界大戦
(ホロコースト)
1914~

地震の激増

②イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)
1948

大患難時代
(7年間の裁き)

イスラエルの回心
キリストの再臨

千年王国



Ⅲ. エルサレムの支配

1967年 第三次中東戦争

エルサレム旧市街。神殿の丘を占領したイスラエル兵たち



【大患難時代に再建されている神殿】

「マタ 24:15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が**聖なる所**に立っているのを見たらー」

「Ⅱテサ 2:3 どんな手段によっても、だれにもだまされてはいけません。まず背教が起こり、**不法の者**、すなわち**滅びの子**が現れなければ、主の日は来ないのです。2:4 **不法の者**は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、**神の宮**に座ることになります。」

■ **反キリスト**は、エルサレムの**聖所(神殿)**を蹂躪する。

➡ 大患難時代には、**神殿**が再建されている(**第3神殿**)



【現在の神殿の丘の状況】

- 警備をしているのは、所有しているイスラエル。
- 実質管理し、礼拝の場としているのは、イスラム。
 - ・アルアクサ・モスク(丘の南側)
 - ・岩のドーム(丘の中央)
- イスラム教徒以外の出入りは、空港以上に厳重。
聖書、十字架、タブレットなどは持ち込み禁止。
- ユダヤ人の礼拝の場は、今も神殿の西壁(外壁)。
- 第三神殿の建設準備を着々と進める、
過激なユダヤ教徒もいる。



【神の計画・これから起きること】

携挙は、いつ起こるか分からない

① 世界大戦
(ホロコースト)
1914~

地震の激増

② イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)
1948

③ エルサレム支配
(旧市街占領)
1967

(イスラエルの
表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

大患難時代
(7年間の裁き)

イスラエルの回心
キリストの再臨



千年王国

IV. 北の諸国連合の侵攻



【誰が攻め込むのか？】 エゼキエル38:1～6

『【神】である主はこう言われる。メシェク*とトバル*の大首長であるゴグ(王の称号)よ。今、わたしはおまえを敵とする。わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢を出陣させる。それはみな完全に武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。ペルシア*とクシュ*とプテ*も彼らとともにいて、みな盾を持ちかぶとを着けている。ゴメル*とそのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマ*とそのすべての軍隊、それに多くの国々の民がおまえとともにいる。

* メシェク、トバル ...現在のロシア南部、イラン、トルコ

* ペルシャ(イラン)、クシュ(エチオピア?)、プテ(ソマリア)

ゴメル(ドイツ?) トガルマ(アルメニア)

ゴグの背後にサタン

ロシア中心の連合軍

アラブ諸国含まず!



【おまえ(ゴク)の侵攻の目的地】 エゼキエル38:7~9

備えをせよ。おまえも、おまえのもとに召集された全集団も構えよ。おまえは彼らを統率せよ。

多くの日が過ぎて、おまえは徴集され、多くの年月の後、おまえは、一つの国に侵入する。そこは剣から立ち直り、多くの国々の民の中から、久しく廃墟であったイスラエルの山々に集められた者たちの国である。その民は国々の民の中から導き出され、みな安らかに住んでいる。

おまえは嵐のように攻め上り、おまえと、おまえの全部隊、それに、おまえにつく多くの国々の民は、地をおおう雲のようになる。

北方諸国の侵攻先は、平和と繁栄を享受するイスラエル



【おまえ(ゴク)の侵攻の目的】 エゼキエル38:10～13

【神】である主はこう言う。その日には、おまえの心に様々なことが思い浮かぶ。おまえは悪巧みをめぐらして、こう言うだろう。「私は無防備な国に攻め上ろう。安心して暮らす平穏な者たちのところに侵入しよう。彼らはみな城壁もなく住んでいる。かんぬきも門もない」と。... シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、おまえに言うだろう。「おまえは分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために隊を構えたのか。銀や金を運び去り、家畜や財産を取り、大いに略奪しようとするつもりか」と。』

* シェバ、デダン(北アラビア)、タルシシュ(スペイン・南米?!)



【神の目的】 エゼキエル38:14～16

「それゆえ、人の子よ、預言してゴグに言え。『【神】である主はこう言われる。わたしの民イスラエルが安心して住んでいるとき、まさに、その日、おまえは知ることになる。

おまえはわたしの民イスラエルを攻めに上り、地をおおう雲のようになる。終わりの日に、そのことは起こる。ゴグよ、わたしはおまえに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがおまえを使って、国々の目の前にわたしが聖であることを示し、彼らがわたしを知るためだ。」

■ 神による侵攻の本当の目的は、

神の民イスラエルが、聖なる神を知るため。



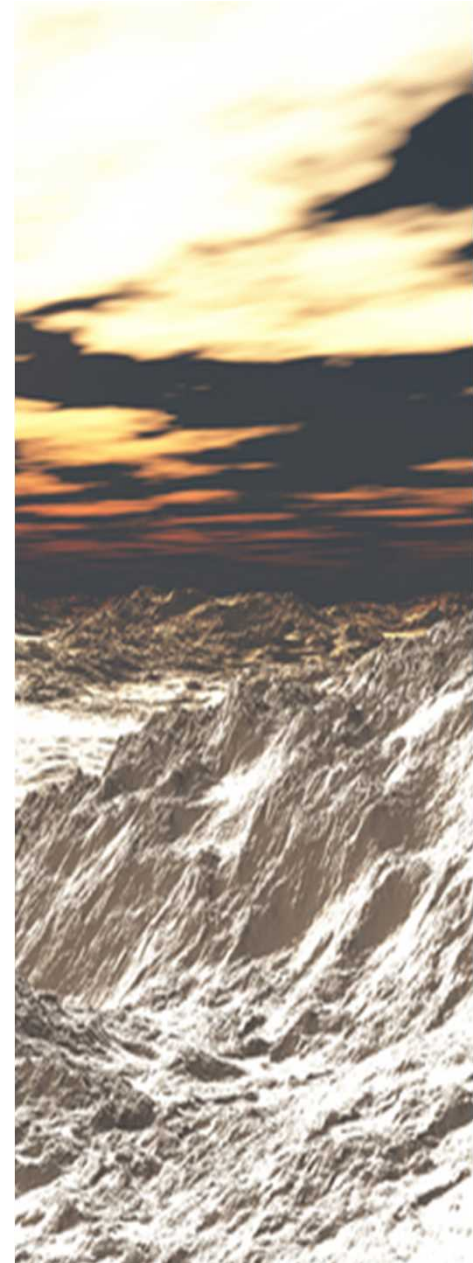
【神によるイスラエルへの裁き】 エゼキエル38:17～20

【神】である主はこう言う。おまえは、わたしが昔、わたしのしもべであるイスラエルの預言者たちを通して語った、まさにその者ではないか。この預言者たちは長年にわたり、わたしがおまえに彼らを攻めさせると預言していたのだ。』

ゴグがイスラエルの地を攻めるその日—【神】である主のことば—わたしの憤りは激しく燃え上がる。

わたしは、ねたみをもって、激しい怒りの火をもって告げる。その日には必ずイスラエルの地に大きな地震が起こる。

海の魚、空の鳥、野の獣、地面を這うすべてのもの、地上のすべての人間は、わたしの前で震え上がり、山々はくつがえり、崖は落ち、すべての城壁は地に倒れる。



【ゴグの軍勢への裁き】 エゼキエル38:21～27

「わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる。―【神】である主のことば―。剣による同士討ちが起こる。わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼とともにいる多くの国々の民の上に豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。

わたしは、わたしが大いなる者であること、わたしが聖であることを示し、多くの国々の見ている前でわたしを知らせる。そのとき彼ら*は、わたしが【主】であることを知る。」

■ゴグの軍勢は、超自然的力によって敗退し、滅ぼされる。

* 不信仰のイスラエルは、主なる神を知る。



【ゴグの滅亡の地】 エゼキエル39:1～＆

「メシェクとトバルの大首長であるゴグよ、わたしはおまえを敵とする。わたしはおまえを引き回し、おまえを駆りたて、北の果てから上らせ、イスラエルの山々に連れて来る。おまえの左の手から弓をたたき落とし、右の手から矢を落とす。

おまえと、おまえのすべての部隊、おまえとともにいる国々の民は、イスラエルの山々に倒れ、わたしはおまえをあらゆる種類の猛禽や野獣の餌食とする。

おまえは野に倒れる。わたしがこれを語るからだ。わたしはマゴグと、島々に安住している者たちに火を放つ。」

■ゴグの軍勢は、イスラエルの山々で滅びる。

ゴグ(ロシア)の地は荒廃し、力を失う。



【侵攻の後】 エゼキエル39:9～16

イスラエルの町々の住民は出て来て、武器、すなわち、盾と大盾、弓と矢、手槍と槍を燃やし、それらで火をおこす。彼らは、**七年間**それらで火を燃やす。

その日、わたしは、イスラエルのうちに、ゴグのために墓場となる場所を設ける。それは、海の東にある去りゆく者たちのための谷である。そこは通行人の道をふさぐ。そこにゴグと、その大軍すべてが埋められ、そこはハモン・ゴグの谷と呼ばれる。**七か月間**、イスラエルの家は、その地をきよめるために彼らを埋め続ける。...**彼らは国をきよめる**」

■ 軍勢の残した物資が、**7年間**イスラエルを支える。

死者の埋葬には、**7ヶ月**を要する。

* イスラエルの侵攻が、**一時的に回復されていく**。



【北方からの侵攻・まとめ】

- イスラエルは再建され、平和を享受している。
- ロシアを中心とした連合軍が攻めてくる。
 - ➡ アラブ諸国は、この侵攻に加わらない。
- 神の超自然的な力で、連合軍は滅ぼされる。
- 連合軍の残した物資で、イスラエルは7年潤う。

【現在のイスラエルと中東情勢】

- 先日、UAEと和平。アラブ諸国との関係の変化。
 - ➡ 敵(イラン)の敵(イスラエル)は味方
- ロシア、イラン、トルコの影響力が増大。



【神の計画・これから起きること】

携挙は、いつ起こるか分からない

① 世界大戦
(ホロコースト)
1914~

地震の激増

② イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)
1948

③ エルサレム支配
(旧市街占領)
1967

④ 北方からの侵略
(イスラエルの
表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

大患難時代
(7年間の裁き)

イスラエルの回心
キリストの再臨



千年王国

V. 世界統治機構の出現



【世界統一政府】 ダニエル7:23～24

『第四の獣は地に起こる第四の国*。これは、ほかのすべての国と異なり、全土を食い尽くし、これを踏みつけ、かみ砕く。十本の角*は、この国から立つ十人の王。彼らの後に、もう一人の王*が立つ。彼は先の者たちと異なり、三人の王を打ち倒す。』

* 地上の異邦人の帝国の最終段階

➡ローマ帝国(共和制)から始まり、世界政府に至る。

* 世界政府が十に分かれる ➡10の行政区？

* 反キリストは、まず世界の3/10を支配する。



【世界政府を予兆させるもの】

■ 世界的影響力を持つグローバル企業

■ インターネットの世界的普及

■ 個人情報電子化・電子マネー

➡すでに実現可能な人体埋込チップ

■ 強まるネット上の情報統制

■ 独裁国家での徹底的な管理社会

■ 個人の自由よりも、全体の統制?!

➡コロナ禍で強まる世界的傾向

■ ある段階で、これらの状況が合致して、
一気に世界統治機構が出現する?!



反キリストの登場!!

【神の計画・これから起きること】

携挙は、いつ起こるか分からない

① 世界大戦
(ホロコースト)
1914~

地震の激増

② イスラエル建国
(不信仰なままの帰還)
1948

③ エルサレム支配
(旧市街占領)
1967

(イスラエルの
表面的な平和と繁栄
世界中で募る敵対心)

④ 北方からの侵略

⑤ 世界統治機構

⑥ 反キリストと
平和条約

大患難時代
(7年間の裁き)

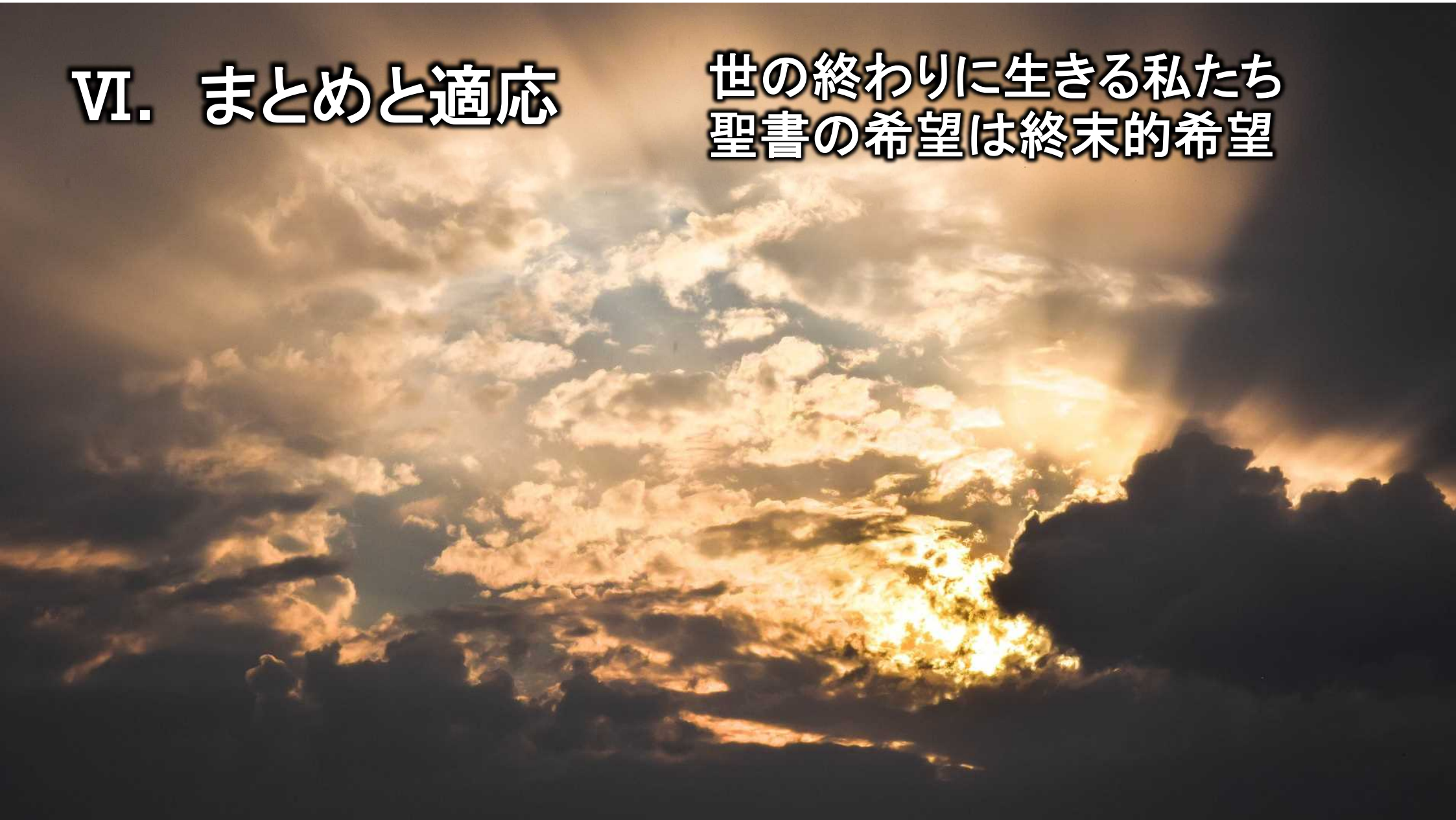
キリストの再臨
イスラエルの回心

千年王国



VI. まとめと適応

世の終わりに生きる私たち
聖書の希望は終末的希望



【世の終わりに生きる私たち】

- コロナ禍で、100年ぶりの世界的なパンデミックのただ中。
- 気候変動。記録的水害、警戒される次の大震災。
- 断絶と混沌。生活に浸透するインターネット。
- 中東情勢の激変。アラブ諸国とイスラルの和平。
 - ➡ 先進技術で世界の注目を集めるイスラエル。
 - ➡ 中東に力を伸ばす、ロシア、イラン、トルコ。
- 世界大戦は起き、大地震も大飢饉も増え続けている。
- 世界は確実に、産みの苦しみの時代、世の終わりに突入している。

【世の終わりに求められる基本的な態度】

「惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名のる者*が大ぜい現れ、『私がそれだ』とか『時は近づいた』とか言います。そんな人々のあとについて行ってはなりません。ルカ21:8」

* 自称キリスト、偽預言者は、ますますたくさん現れる。

■ 聖書の預言は成就した、と煽る人も増えていく。

預言の成就は、聖書の通りに、“起こって初めて確認できること。”

➡ 現在進行中の出来事が、預言の成就かどうかは分からない!!

■ 戦争も、災害も疫病も、起きる。

でもまだ、大患難時代の始まりではない!!

【聖書に地名が出てくる範囲】



アメリカも中国も、日本も韓国も北朝鮮も、聖書には出てこない。
「地の果て」と一言で呼ばれる異邦人世界は、終末では端役ですらない。

【聖書の希望は終末的希望】

- 人間の力で、世界を救うことはできない。変えることはできない。
- 王の王として来られる、再臨の主イエスが、世界を回復される。
- 主イエスの十字架の贖いと復活は、文字通り、成し遂げられた。
主イエスの福音と世界の回復も、文字通り、成し遂げられる。
- 私たちに求められるのは、聖書の約束への信頼。
福音を信じ、聖書の約束を学び、神を知ろう。
そうすれば、今を落ち着いて、平安をもって歩むことができる。

「天のお父さま。わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、
①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

主(しゅ)イエスは、ふたたびこられ、信じる者すべてを
天(てん)に挙(あ)げ、来(きた)るべき裁(さば)きから
救(すく)ってくださいます。

終末的希望(しゅうまつてききぼう)をもって、

平安(へいあん)の内に、わたしたちを遣(つか)わし、

用(もち)いてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」

You Tube バイブルスタディ

★次回予告：9月22日(火) 午前10時より

(※基本的に、第2、4火曜日10時から!!)

第5回 「教会の携拳・天上の礼拝」

★Zoomでの分かち合いのコーナーも!!

11時15分くらいから、分かち合いの時間を持ちます。

